

地図に表して考える



地図
シール

あるエリアの中で収集した情報を地図に整理して、考えます。

利点

- ・エリアの特徴がとらえやすい。
- ・ほかのエリアと比較しやすい。
- ・エリアの特徴と、調査した結果を関連付けて考えられる。

ポイント

- 地図を用意する・・・・・・・・・・地図は、通常、北を上にしてつくります。
目印となるもの、特徴のあるものをかきこんでおきます。
- 情報を地図に表す・・・・・・・・・・数値やもの、言語情報を地図に表します。
数字、簡単な言葉、印、色、マークなどで表すと見やすいです。
(凡例をのせるといいです)

※地図を拡大して全体で整理すると情報を共有できます。

地図の読み取り方

- 全体を見る。 **事実** 例)・わたしたちのまちは、全体的に自然が多い。
 - ・全体的に家やマンションが多い。
 - ・北と東と西の3方を山に囲まれている。
- くわしく見る。 **事実** 例)・川の近くには、田が多い。
 - ・駅やバス停の近くには店が並んでいる。
 - ・学校の北側は家が多いが、南側と東側はマンションが多い。
- 事実を基に、思ったこと、考えたことを書く。 **思ったこと・考えたこと**

例)・川の近くに田が多いのは、米作りには水が必要だからかな。

 - ・駅の周りに店が多いのは、駅を利用する人がたくさん来るからかな。
 - ・わたしたちのまち自然が多いけど、B町は工場が多い。これは、大きな道路と何か関係があるみたいだ。この道路から工場に行く車の種類と数を調べてみたいな。

【 実践例 】

「生きもの発見 map」

1 校内地図を用意する。

2 どんな生きものが、どこにいるのかを探す。(観察する)



3 みつけた生きものを、校内地図に整理する。



生きものシール(一部)

4 地図を見ながら、分析する。



○ 場所
○ 事実
○ 思ったこと
○ 考えたこと

地図にクラスワークで出た考えをまとめて、掲示しておきました。